

●ふれあいワーク様賛助金贈呈式

国際ソプロチミスト熊本-さくらと同年に誕生したふれあいワーク、共に27年を迎えました。1月20日定例会で賛助金5万円を贈呈。丸山さんは「障害を持った方への理解が深まるよう、障害を持った方の生活が豊かになるよう長年活動を続けてきました。これからもどうぞよろしくお願いたします。」とご挨拶。さくらも更なる生活の向上へのお手伝いを続けていきます。



●ジェーンズ邸の桜が咲きました

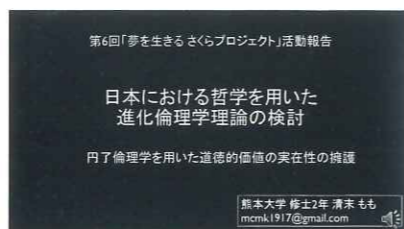
2009年に当クラブが植樹したジェーンズ邸の桜が今年も咲きました。植樹から12年を経てこんなに大きくなりました。(3月24日撮影。ジェーンズ邸は熊本地震により休館中。)



青空に映えてきれいに咲いています

●第6回「夢を生きる:さくらプロジェクト」報告会

2018年受賞の「清末もも」さんの2年間の活動報告がコロナ禍のため、ビデオで行われました。「人生の目的」は幸福であり、「倫理の目的」、円了倫理学について学びを深めておられました。これからもご活躍を応援しています。



2018年度助成金受賞者の清末ももさん(熊本大学大学院修士課程)の報告ビデオを2021年1月に受取り、上映会の予定でしたが、新型コロナで断念、各自で視聴することになりました。



第27期 理事会

- | | |
|--------------------|--------|
| 会長 | 坂本 恵美子 |
| 第1副会長 | 渡邊 桂子 |
| 第2副会長 | 荒木 雅子 |
| レコーディング
セクレタリー | 清家 純香 |
| コレスポンデント
セクレタリー | 野尻 桂子 |
| トレジャラー | 日隈 昌子 |
| アシスタント
トレジャラー | 忽那 美紀 |
| 理事 | 出田 節子 |

第28期 新理事会 紹介

新会長 野尻 桂子

「女性と女兒のために」「コロナ禍でもできること」を全員で考えながら活動していきたいと思っております。SNSの活用は特別委員会の若手会員の方々のお力頼みです。

- | | |
|--------------------|--------|
| 会長 | 野尻 桂子 |
| 第1副会長 | 坂本 恵美子 |
| 第2副会長 | 渡邊 桂子 |
| レコーディング
セクレタリー | 前田 京子 |
| コレスポンデント
セクレタリー | 池田 美香 |
| トレジャラー | 笠場 よしえ |
| アシスタント
トレジャラー | 増田 俊子 |
| 理事 | 松田 ゆみ子 |

2021年6月発行
国際ソプロチミスト熊本-さくら

- | | |
|------|----------------|
| 会長 | 坂本 恵美子 |
| 編集 | 池田美香 前田京子 荒木雅子 |
| 例会日時 | 毎月第3水曜日 |
| 例会場 | ザ・ニューホテル熊本 |



一年間お疲れ様でした。



会長挨拶

国際ソプロチミスト熊本-さくら
第27期会長 坂本 恵美子

1年半程前から「コロナウイルス」という言葉に惑わされ、右往左往の1年でした。
・広島での日本財団令和2年度年次贈呈式の中止
・沖縄での南リジョン大会の開催方法の変更
・クラブでのチャリティーバザーの中止
・クラブでのチャリティー歳入事業中止など
数多くの不便なことがありました。

それでも我々は「やりたい事は何か?」「どうすれば実現できる?」と知恵を出し合い、会員が協力し合って例会を開催してきました。「夢を生きる賞」に応募し「社会ボランティア賞」「千嘉代子賞」にも応募しています。例会日に対面例会ができない時の為にクラブ内にITに詳しい会員に「オンライン委員会」を作ってもらい全員何らかのツールを使って参加できるようになりました。昨年は止むを得ず中止しました「第5回「夢を拓く:女子中高生のためのキャリア・サポート」」を春から夏に開催日を変更して実行しようと準備しています。「三密」を避けてのクラブ内バザーは、とても良い思い出となり、「やればできる」自信にも繋がりました。多くの方々のご協力によってボランティア活動が出来ていることに感謝して、これからも活動を続けていきたいと思っています。この1年私どもの活動にご協力戴きました皆様に感謝申し上げます。

夢を生きる賞 (女性のための教育・訓練賞)

受賞者: 木村 瑠夏(きむら るか)氏 25歳
(ヒューマンアカデミー熊本本校に在学)

4歳の男の子の育児と仕事(パートとして勤務)を両立しながら、ネイリストを目指し専門学校での勉強を頑張っておられます。

1月20日定例会でクラブ賞(賞金10万円)表彰式を行いました。

受賞の感想

日々両立の難しさに直面しながら頑張っています。今までの努力を大きく肯定してくれる今回の受賞はシングルマザーにとっても大切なことで、大きな自信につながりました。夢は、自身のサロンを開業、経営することです。

近況報告

2月に受けたジェル中級と、3月に受けたネイリスト検定一級は無事合格することができました。7月末にジェル上級検定を受けたらひと段落する予定です。

国際ソプロチミストでは、よりよい生活を目指して現在、教育・訓練の為の学校(大学院を除く)に在学中、もしくは入学許可を持っている女性(通信教育可)で、家族に対して経済的扶養責任を負っている女性を支援しています。



国際ソロプチミスト熊本-さくら 「コロナ禍での新しい活動の在り方」を振り返って

新型コロナ感染拡大により、当クラブでも昨秋から様々な対応をして乗り越えてまいりました。この数カ月を振り返ってみたいと思います。

・2020年9月16日の定例会

クラブ内バザー開催。コロナ禍での開催の為、品物配置・販売方法・集金方法等の工夫がなされました。「距離を保とう」の看板を掲げ、注意を払いながらのバザーでした。



・2020年11月18日の定例会

コロナ禍の中で「◆新型コロナウィルス感染予防のための健康チェックシート◆」を作成、例会は10時～12時、食事なし、会場は常時換気(ドアオープン)、座る場所は隣との間隔を1m以上空ける、等の対策を取りながらチェックシートを守り活動を継続。この日はクラブ内バザーでシクラメン販売(今年で14年目)。コロナ禍で10月のチャリティーバザーは中止になりましたが、「女性と女児を支援する」ための資金作りに例会時の「クラブ内バザー」を継続しています。



・2020年12月16日定例会

Xmasバザーを開催。(於：ザ・ニューホテル熊本)今年最後の定例会とあって、会員25名のうち、21名が出席し、定例会もバザーも活発に行われました。



・2021年1月20日定例会以降

いよいよ新型コロナ感染が拡大、例会も規模縮小を余儀なくされ、理事会と委員長のみ会場で参加、他の会員はラインでのオンライン参加となりました。理事会より今

オンライン定例会の様子



後の定例会をオンラインで開催できるよう、準備のためのスタッフが集められ「Zoom委員会」が発足しました。(現在のオンライン委員会)
 ・2021年1月22日国際ソロプチミスト日本南リジョンから「全ての対面での活動停止」緊急要請がありました。
 ・Zoom委員会メンバーから各会員へのフォロー数回を経て、2月24日、3月17日、4月21日の定例会はオンライン(Zoom)で開催しました。
 ・4月13日：南リジョンからソロプチミスト活動の制限が緩和されることになり、感染諸対策を万全にした上で 5月1日以降の定期的な会合は対面も可(クラブの裁量に委ねられる)になりました。
 4月18日の南リジョン大会は、Webexでのオンライン大会
 ・5月19日ようやく対面での定例会開催
 パーテーションを設置しての会議、また被災地支援バザー(東日本・阿蘇・人吉支援)も開催しました。
 今後も状況の変化に適応しながら、笑顔で乗り越えて行きましょう。

●国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン 「第35回オンライン南リジョン大会」開催

Webexを使用し、沖縄と福岡をキー局にオンライン大会を開催。さくらからも約17名が自宅などから参加。

第35回南リジョン大会が、2021年4月18日(日)福岡と沖縄をキー局に初のオンライン大会として開催され、九州各地から92クラブの会員が参加、当クラブからも約17名の会員が自宅のパソコンやスマートフォンなどで参加しました。2月から南リジョンのWebex体験レッスンが始まり、2回、3回と練習しての参加でオンラインに慣れ、十分に楽しめたようです。沖縄県立中部病院感染症内科医師の高山義浩先生の新型コロナ感染についての記念講演やブレイクアウトセッション(参加者同士のおしゃべりタイム)などもあり、充実した1日でした。



●オンライン委員会

【メンバー】 笠場、日隈(お助け隊)、清家、池田、宗方

◇活動の内容

目的：会員(25名)がオンラインで会議を開催、意見交換できるようになること。Zoom委員会として発足しました。

- 第一回委員会：2021年1月23日(土)
- 第二回委員会：2021年1月31日(土)

あとは各自個人でお世話や 2/11理事会、2/21宗方宅 2/24webex、3/5webex笠場、3/8webex、3/17オンライン定例会合

3/20、3/22、その他webex体験会 4/21オンライン定例会合

◇所感

この特別委員会は コロナ渦中の感染予防の為、自宅や離れた場所からでも会議開催を可能にすることを目的として発足。1月23日から活動を開始。

メンバーは ZOOMの参加経験はあっても、実際にホストとしてZOOM会議を運営したことがなく、それでも、「まずは試してみる」意気込みがある大変頼もしいメンバーが揃いました。

会員一人一人のインターネット・スキルに寄り添い、「慣れる 楽しむ 活用する」を目標に掲げ、約一か月という短期間で初のZOOMによるオンライン定例会合を2月に開催することが出来ました。

その後、南リジョン大会のwebexにも多くの会員が参加できたことは夢のように感じます。

同じ目標を持つ仲間がいることで、年齢を言い訳にせず、お互いに励まし合って、新しいことに挑戦すれば、時代に翻弄されずに夢が実現できると確信できました。



委 員 会 紹 介

一年間がんばりました

●プログラム委員会

【メンバー】 岩田委員長・増田・小笠原・渡邊・野尻

◇活動の内容

・「夢を生きる賞」(女性のための教育・訓練支援)

木村瑠夏さん 2021年1月20日
クラブ賞10万円授与

・第5回「夢を拓く：女子中高生のためのキャリアサポート」

コロナ禍の影響で今年度(3月)

の開催を中止→来期(8月28日)に開催することになりました。

・社会福祉法人わくわく(ふれあいワーク)支援

・さくらDV被害者支援基金(熊本県女性相談センター)

女性と女児の生活を向上させることを目的に活動



●メンバーシップ・SOLT委員会

【メンバー】

・関委員長・宮村・山崎・後藤・蔵原・宗方・清家

◇活動の内容&メッセージ

今期は3人の新入会員を迎え、各委員会でそれぞれの特色を生かして活躍。わが委員会の宗方さん、理事の清家さんの教育のおかげで、SNSやZoomという初めての手段を覚えてもらいながら楽しく活動しております。



来期にはまた、新入会員さんをお迎えいたします。早く仲間に入って頂きご自分の得意とすることを積極的に出せるよう周りの方はお手伝いしましょう。

★SOLTとは★

SOLTは、Soroptimist Orientation and Leadership Trainingの頭文字で SO(会員オリエンテーション)とLT(指導者養成)を目的としています。

SOLTは、ソロプチミスト会員が組織の成り立ちと使命を正しく理解し、会員としての自覚を持って奉仕活動すること、また、使命達成のためのリーダーシップをいつでもどこでも状況に応じて発揮することを目指しています。

SOLTにおける儀礼やルールは、会員全員がお互いを尊重しながら気持ちよく活動するためのマナーであり、連帯感と組織への愛着を深めるための共通認識でもあります。

SOLTは、ソロプチミスト会員が相互に研鑽し、自己を向上させるための道しるべです。(南リジョンホームページより抜粋)

●ソロプチミスト日本財団委員会

【メンバー】 笠場委員長・田中・出田

◇活動の内容

・公益財団法人ソロプチミスト日本財団の支援・奨励・顕彰・援助の各事業へ該当する方を推薦応募し表彰する委員会です。

今期は環境美化活動団体等2件を推薦しました。

◇メッセージなど伝えたいこと

・推薦応募に関する詳細は当クラブのホームページをご覧ください。



●広報委員会

【メンバー】 池田委員長・森・前田・荒木

◇活動の内容

・ホームページの充実(月1回の記事更新)
 ・各委員会活動に参加・連携し写真撮影

◇メッセージ

・限られた活動の中ででしたが、夢を生きる賞の表彰やクラブ内バザーなどの記事をホームページに掲載し、楽しい様子をお伝えできたのではと思います。昨年入会された前田さんも写真撮影に活躍されました。



●財務・資金調達委員会

【メンバー】 松田委員長・紫垣・忽那・日隈・吉田

◇活動の内容

・クラブ内バザー
 (2020年11月例会)シクラメン販売
 (2020年12月例会)クリスマスバザー
 (2021年5月例会)

被災地支援：東日本、阿蘇、人吉。
 被災地の特産品お取り寄せ販売。

◇メッセージ

コロナ禍で対外的な活動が行えず、資金を得ることができませんでした。早い終息を祈るのみです。

